

## 【ユニット】 薬理総論

### 【ユニットディレクター】

UD：淡路 健雄（薬理学）

UD 補佐：吉川 圭介（薬理学） 周防 諭（薬理学）

### 【一般的な目標】

臨床現場における薬物治療を理解するための基本的な知識の習得を目標とする。将来医師として遭遇する薬物の問題点や特質をたやすく理解し、臨床で応用できる実力を得られることを目的とする。

### 【具体的な目標】

1. 薬理作用と薬物受容体を説明できる。
2. 薬理作用と細胞内情報伝達系を説明できる。
3. 薬物の体内動態を説明できる。
4. 薬効に影響を及ぼす因子を説明できる。
5. 薬物の副作用を説明できる。
6. 薬物相互作用を説明できる。
7. 末梢神経系に作用する薬物を説明できる。
8. 解熱鎮痛抗炎症薬を説明できる。
9. 代表的な化学療法薬を説明できる。
10. 臨床における薬物治療の基本を概観できる。

### 【学習方法】

授業を出発点として、自主的に教科書で自習することを求める。授業ではポイントの提示や考え方の基本の概略を紹介する。PDF で配布される講義資料もしくは FLASH 薬理学（羊土社）を参照して講義を行う。副読本として「休み時間の薬理学 第3版（講談社）」「代替医療解剖（新潮文庫）」と「イラストレイテッド薬理学」を指定する。学習の進展度を考慮し必要に応じてレポートを課す、内容が著しく不十分な場合にはメールや Zoom、対面による指導を個別に行う。また提出されたレポートは全体としての講評を授業後に行う。毎講義ごとに WebClass を利用した小テストを行う。小テストは各個人で確認して、誤った項目は復習すること。正解率が 60% 未満の問題については、適宜、その後の講義で解説する。定期試験のフィードバックは行わない（本試験不合格者には要望があれば個別に対応する）。

### 【評価方法】

評価は、(1) 実習・講義でのレポート、(2) WebClass での授業毎の小テストの実施状況、実習の実施状況、および (3) 本試験を加味して行う。1. レポート 期日までの未提出は減点する。医学教育センターが認めた事由以外での減免は行わない。2. 小テストおよび実習 未実施は減点する。医学教育センターが認めた事由以外での減免は行わない。3. 試験 記述中心の筆記試験を行う。実習内容からも出題される。追再試験受験の可否は医学教育センターが決定する。4. 評価方法の決定 定期試験に不合格であった場合、再試験を受験する。再試験では、講義レポートと小テスト・実習の評価は考慮しない。COVID-19 等社会状況によってはオンライン評価など評価法に著しい変更の可能性がある。上記の配点区分等を含めて評価要項は、2026 年 10 月末までに決定し、SMU パスポート等で公知するので注意すること。

【教科書】

- ◆ FLASH 薬理学（羊土社）改訂版 丸山敬

【参考書】

- ◆ イラストレイテッド薬理学 原書8版  
◆ 代替医療解剖（新潮文庫）サイモン シン，エツァート エルンスト（2013）  
◆ 休み時間の薬理学 第3版（2021/6/21）

【授業予定表】

|       | 月日     | 曜日  | 時限  | 講義名                        | 担当者                                                                                             |
|-------|--------|-----|-----|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 薬理1   | 11月19日 | （木） | 3   | 薬理学入門                      | 淡路（薬理学）<br>小谷（薬理学）                                                                              |
| 薬理2   | 11月19日 | （木） | 4   | 自律神経概説                     | 淡路（薬理学）                                                                                         |
| 薬理3   | 11月19日 | （木） | 5   | 副交感神経薬理学                   | 淡路（薬理学）                                                                                         |
| 薬理4   | 11月24日 | （火） | 1   | 交感神経薬理学                    | 淡路（薬理学）                                                                                         |
| 薬理5   | 11月24日 | （火） | 2   | 末梢神経作用薬                    | 柳下（薬理学）                                                                                         |
| 薬理6   | 11月26日 | （木） | 1   | 薬物動態学入門                    | 周防（薬理学）                                                                                         |
| 薬理7   | 11月26日 | （木） | 2   | 薬力学入門                      | 周防（薬理学）                                                                                         |
| 薬理8   | 11月27日 | （金） | 4   | 薬物動態と薬力学（実践基礎）             | 牧野（国セがんゲノム）<br>淡路（薬理学）                                                                          |
| 薬理9   | 11月27日 | （金） | 5   | 薬物動態と薬力学（実践応用）             | 牧野（国セがんゲノム）<br>淡路（薬理学）                                                                          |
| 薬理10  | 11月30日 | （月） | 2   | 循環薬理入門                     | 小谷（薬理学）<br>淡路（薬理学）                                                                              |
| 薬理11  | 11月30日 | （月） | 3   | 全身麻酔薬                      | 土井（麻酔科）<br>淡路（薬理学）                                                                              |
| 薬理12  | 12月01日 | （火） | 3   | 感染症治療薬                     | 淡路（薬理学）                                                                                         |
| 薬理13  | 12月01日 | （火） | 4   | 抗悪性腫瘍薬（1）                  | 牧野（国セがんゲノム）<br>淡路（薬理学）                                                                          |
| 薬理14  | 12月01日 | （火） | 5   | 抗悪性腫瘍薬（2）                  | 牧野（国セがんゲノム）<br>淡路（薬理学）                                                                          |
| 薬理15  | 12月03日 | （木） | 4   | 抗炎症薬                       | 吉川（薬理学）                                                                                         |
| 薬理16  | 12月03日 | （木） | 5   | 臨床薬理学入門                    | 淡路（薬理学）                                                                                         |
| 薬理実習1 | 12月16日 | （水） | 1～6 | 用量反応関係，競合的拮抗薬，Ca動員機構に関する検討 | 淡路（薬理学）<br>吉川（薬理学）<br>岩佐（薬理学）<br>周防（薬理学）<br>柳下（薬理学）<br>小谷（薬理学）<br>山本（保医学臨床検査）<br><u>熊谷（薬理学）</u> |

|       | 月日     | 曜日  | 時限  | 講義名       | 担当者                                                                                                     |
|-------|--------|-----|-----|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 薬理実習2 | 12月17日 | (木) | 1～6 | 自律神経作用薬   | 淡路 (薬理学)<br>吉川 (薬理学)<br>岩佐 (薬理学)<br>周防 (薬理学)<br>柳下 (薬理学)<br>小谷 (薬理学)<br>山本 (保医学臨床検査)<br><u>熊谷 (薬理学)</u> |
| 薬理実習3 | 12月18日 | (金) | 1～6 | 循環系に関わる薬物 | 淡路 (薬理学)<br>吉川 (薬理学)<br>岩佐 (薬理学)<br>周防 (薬理学)<br>柳下 (薬理学)<br>小谷 (薬理学)<br>山本 (保医学臨床検査)<br><u>熊谷 (薬理学)</u> |

【備 考】

FLASH 薬理学（羊土社）は、改訂版を利用するので旧版を間違えて購入しないように注意してください。